やまなし「水」ラボプロジェクト

～平成30年度 やまなし「水」ラボプロジェクト事業補助対象研究の決定～

山梨県では、県の重要な地域資源である「水」について、様々な研究主体による多様な研究を促進し、山梨県の「水」のブランド力向上を図るため、県内の大学や試験研究機関、ＮＰＯなどの民間団体のほか、高校生など学生も含めた「水」の研究を募集し、補助金を交付しています。

平成３０年度については、次のとおり補助対象研究が決定しました。

■応募状況

募集期間：平成３０年４月９日（月）～ 平成３０年５月１８日（金）
応募者数：１６団体（自然科学分野　９団体、人文・社会科学分野　７団体）

■補助対象研究

分　野	団　体	研究テーマ
人文・社会科学	甲府南高等学校	山梨の地域天然水、そのブランド力を探る
自然科学	山梨英和学院 山梨英和中学校・高等学校	山梨県内におけるミズダニ類の分布と水質環境評価
自然科学	山梨学院大学 健康栄養学部	訪日外国人に対する「水」を観光資源とした国際共同モニター調査
人文・社会科学	山梨県立大学 国際政策学部　吉田均研究室	茶事に適する山梨の水の研究
自然科学	山梨大学 国際流域環境センター	山梨県全域における温泉の特性のマップ化 ～山梨の温泉はどこからくるのか？～
人文・社会科学	山梨大学 地域未来創造センター	県内湧水地別の嗜好飲料、食品に対する相性分析とブランド化戦略
自然科学	ライカーズアカデミア	山梨県のホタル生息地立体マップの作成

■応募状況

研究の終了後には、研究成果の発表の場を設けるとともに、その内容をやまなし「水」ホームページへ掲載するなど、広く県民にお知らせし、本県の「水」の価値や魅力について、県民に発信していきます。

ホームページ　やまなし「水」ラボプロジェクト　検索

きれい甲斐

No.81 AUGUST 2018

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし
事務局●〒400-8501山梨県甲府市丸の内1丁目6-1山梨県森林環境総務課内
TEL.055-223-1657 FAX.055-223-1636 ✉sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp
ホームページ　パートナーシップやまなし　検索
発行責任者●企画委員長　志　村　宏　司

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

平成30年度定期総会を開催



平成３０年度定期総会を、6月2日(土)、山梨県防災新館やまなしプラザで開催しました。

議事では、平成２９年度事業報告・収支決算報告、平成３０年度事業計画・収支予算について原案どおり承認されました。

役員・企画委員

会長	坂本　政彦	（一社）山梨県トラック協会	
副会長	大澤　英二	山梨県ボランティア協会	
	佐野　誠	山梨県PTA協議会	
	萩原　雄二	日本労働組合総連合会山梨県連合会	
監事	浅野　正一	（一社）山梨県建設業協会	
企画委員長	志村　宏司	パルシステム山梨	
企画委員	内藤　力	山梨県商工会連合会	
	飯窪　さかえ	あしたの山梨を創る創る生活運動協会	
	伊藤　祐寛	山梨県専修学校各種学校協会	
	黒田　光秀	学識経験者（クロダ㈱）	
	齋藤　紳悟	（公社）山梨県私学教育振興会	
	野口　英一	（公財）富士山をきれいにする会	
	關本　得郎	山梨県農業協同組合中央会	
	小林　明	山梨県商工会議所連合会	
	辻　一幸	（一社）山梨県森林協会	
	小林　高	環境に関する企業連絡協議会	
	仲澤　早苗	山梨県消費生活研究会連絡協議会	
	西澤　充	（一社）山梨県労働者福祉協会	
	雨宮　一夫	山梨県自然保護教育振興会	
	安井日出夫	（一社）山梨県老人クラブ連合会	
	依田　茂己	山梨県青少年団体連絡協議会	
顧問	宮川　睦武	山梨県中小企業団体中央会	

平成30年度事業計画

1．活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業

（1）広報誌の発行
- 会員向けの会報的なものとし、年４回の発行を基本とします。
- 会員相互のパートナーシップを深めるため、本会の活動計画や活動報告を掲載します。
- 会員紹介や会員の特徴のある活動をＰＲし、環境活動を広めていきます。

（2）会員の募集
- 積極的な広報活動を行い、より一層の会員の拡大（募集）を図ります。

（3）ネットワークづくりのための検討
- 会員のネットワーク化及び主体的な事業参画に向けての検討を行います。

2．３R・温暖化防止対策実践活動推進のための事業

- エコライフお絵かき・川柳コンテストの開催
- ３Ｒ推進、地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムの開催
  県民への意識の定着化を進めるため、関係団体に働きかけ、エコライフの普及や地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムを開催します。
- 県民の日記念行事におけるごみ減量化運動
  県民の日記念行事がごみの出ないイベントとなるよう、ごみの持ち帰りパレードを実施します。
- 環境に関するイベント等の実施
  県民の日記念行事等のイベントにおいて環境パートナーシップやまなしのブースを設置し、本会のＰＲや活動内容の紹介等を実施します。

3．その他

- 今日的な行政課題解決のための協働事業
- 県事業との協働及び民間活動団体に対する後援等によるネットワークの拡充
  「やまなしクリーンキャンペーン」、「やまなし育水県民大会」、「“人と環境にやさしい交通”県民運動」、「ボランティア・ＮＰＯ活動推進月間」「やまなしエコライフ県民運動」などに積極的に参画し、実践活動を行っていきます。

「環境フォーラムinやまなし」が開催されました

環境パートナーシップやまなし定期総会の後、同会場おいて、山梨県の主催で「環境フォーラムinやまなし」が開催されました。

環境フォーラムでは、永年環境活動に従事し、顕著な功績のあった団体を表彰する山梨県環境保全功績者表彰を行うとともに、県立科学館の上野元嗣氏による「エコサイエンスショー」とエコマジシャン・ミヤモ氏による「エコマジックショー」が行われました。科学実験やマジックを通じて、３Ｒや地球温暖化についてわかりやすく楽しく学べる講演会となりました。





【環境保全功績者被表彰者】

団　体　（敬称略）

・南アルプスライオンズクラブ（南アルプス市）
・丹波山村立丹波中学校（丹波山村）
・山梨市立八幡小学校（山梨市）
・市川三郷町立市川中学校（市川三郷町）
・山梨県立韮崎高等学校環境科学部（韮崎市）

「エコライフお絵かき・川柳コンテスト2018」作品募集中です

このコンテストは、県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の園児や児童、生徒、県内在住又は県内勤務者から省エネ、マイバッグ・エコはし・マイボトルなどエコに関する絵及び川柳を募集することにより、その製作過程を通じてライフスタイルを見直し、環境にやさしい暮らし方をしてもらうことを目的としています。

賞品を多数用意していますので、会員の皆様のお子様などにもふるって応募いただきますようご協力をお願いします。



応募方法　用の応募用紙（コピー可）に省エネ、マイバッグ、エコはし、マイボトルなどエコに関する図柄を一つ以上題材とした絵（一人一点）又は川柳（一人三句）をご自由におかきいただき、82円切手を貼り、ポストに投函してください。
応募用紙は、環境パートナーシップやまなしホームページでダウンロードできます。
http://www.pref.yamanashi.jp/sinkan-som/partnership.html

応募〆切　成30年9月13日（木）【当日消印有効】

発　表　査結果は、環境パートナーシップやまなしのホームページに掲載します。
また、11月中旬に入賞者の表彰を行い、賞品を贈呈します。

応募先・問い合わせ先　〒400-8501　甲府市丸の内1-6-1
環境パートナーシップやまなし事務局
（県森林環境総務課内）
TEL　055-223-1657

COLUMN コラム　萩原　智子



私は、2015年から、「水ケーション～森と水の授業～」という取り組みをしています。水を通じて、Communication（通じ合う）とEducation（教育）する意味が込められています。少しでもこの活動が広がるように、「水ケーション」の言葉を造りました。

自然の大切さを学び、感謝の気持ちを育てる新しい授業です。森と水の豊かな自然環境が未来に続くよう森と水の大切さを広く普及していきたいと考えています。そのために未来を担う子どもたちに、森と水の役割、大切さを伝え、自然に対する感謝の気持ちを育む水ケーションを行っています。

授業をスタートして3年。全国の５５１名の子供達と一緒に気持ちを共有しました。今年も高知県四万十町を皮切りに、これから全国各地で授業開催が決まっています。

私は、23年間、水泳と共に歩んできました。水泳を通じて学んだ経験は、ひとつひとつ私を育ててくれました。克己心、強い覚悟、チャレンジ、出会い、そして笑顔・・・大きな壁にぶつかりながら進んできましたが、喜びも苦しみも、無駄なことはなかったと心から思います。私の周りには、常に水がありました。しかし海外へ行く度に感じるのは、日本のように綺麗な水があるのが当たり前ではないという現状。日本は水環境に恵まれている。しかし気が付いたのです。

飲み水がなければ、泳ぐことはできない。水泳は、豊かさの象徴であり、幸せなのだと。当たり前のようにプールに綺麗な水が存在する。これは「当たり前」ではなく、「ありがたい」ことなのです。そのことに気が付いた今、改めて「水の存在」を皆さんに伝え、「感謝」の気持ちを共有したいと心から願っています。

Profile プロフィール

名　　前　萩原智子（はぎわら・ともこ）
生年月日　1980年4月13日
肩　　書　日本水泳連盟理事
出 身 地　山梨

出身校　山梨学院大学付属高等学校
山梨学院大学
山梨学院大学大学院

中学3年生時に、海外遠征カナダ選手権200m背泳ぎで、当時、日本歴代2位となる日本中学新記録樹立。
高校インターハイでは、200m背泳ぎで、3連覇達成。同年アジア競技大会では、個人、リレー種目で、3個の金メダルを獲得。
2000年シドニー五輪、200m背泳ぎ4位、200m個人メドレー8位入賞。2002年日本選手権では、100m、200m自由形、200m背泳ぎ、200m個人メドレーで史上初の4冠達成。「ハギトモ」の愛称で親しまれ、2004年現役引退。
5年の歳月を経て、2009年現役復帰宣言。復帰レースとなった新潟国民体育大会では大会新記録で優勝。
翌年2010年には、30歳にして日本代表に返り咲いた。同年、ワールドカップ東京大会で50m自由形、100m個人メドレーで、短水路日本新記録を樹立。
2012年2月のJAPAN OPENでは、50m自由形で短水路日本記録を樹立。
2013年6月、日本水泳連盟理事に就任。
2015年、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員に就任。
現在は、テレビ・ラジオ出演や水泳の解説のほか、自ら現場に行って取材を行い、ライターとしても活動の幅を広げている。
メディア出演のほかにも、これまでの人生経験をもとに講演活動を行うほか、改めて、自身を育ててくれた「水」に感謝し、水泳教室はもとより、「水の大切さ」 や「水の教育」にも取り組む水でエデュケーション・コミュニケーションする「水ケーション」の活動にも注力している。また山梨県、福島県、愛知県で水泳大会「萩原智子杯」も開催している。

●投稿募集中

【会員紹介コーナー】
①A5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所）、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】
○主催団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等をお教えください。